



やじり)、勾玉などが出土しています。宗光寺横穴群から南東約350mにある、同時代の創建と考えられる古代寺院、宗光寺廃寺との関連性が注目されます。



宗光寺横穴群出土の須恵器横瓶

5 世紀後半〜8世紀頃(古墳時代)奈良時代にかけて、墳丘をもつ古墳と並行して、全国的に横穴墓が造られるようになります。横穴墓とは、丘陵の斜面や崖面などに横方向に穴を掘って造った墓で、複数のまとまりをもって営まれたものです。市内においても、丘陵斜面や崖面に28カ所の横穴墓が確認されています。今回は、この横穴墓について紹介します。

北江間の北江間横穴群は、大嵐山丘陵南西斜面に位置しており、大師山横穴群・大北横穴群など群単位で構成され、総計101基からなる伊豆地域屈指の横穴墓です。

この内、大師山横穴群は、10基が確認されています。特に1号墓は高さ2.8m、奥行き6.2mを誇り、中に高さ1.5mの家形石棺が安置されている、伊豆地域でも稀な超大型の横穴墓です。

大北横穴群では、北江間横穴群のなかで最も多い47基が確認されています。この横穴群からは、火葬骨を埋納する石櫃が出土しています。24号墓で出土した石櫃には



国史跡北江間横穴群(大北横穴群)

「若舎人」銘が刻まれています。「若舎人」という文字から、当時の大和朝廷に出仕した官僚や、その関係者の墓ではないかと考えられています。

横穴墓は、急な斜面を掘り込んで空間をつくるため、ある程度掘りやすく、かつ崩落しにくい地盤が必要となります。市内の横穴墓は、主に軟質な凝灰岩層を選んで造られています。それぞれの横穴墓の形には、入口部分がアーチ状であったり、正方形であったりなど、さまざまな種類があります。岩盤には当時の人々が苦心して掘ったノミなどの工具跡が、今も無数に残っています。横穴墓の造営は、当時の最先端の技術を駆使したものであり、かつ当時の社会的背景を示すものといえます。

北江間横穴群は国の史跡であり、大師山横穴群・大北横穴群は現地見学ができます。なお、「若舎人」銘の石櫃は、国の重要文化財に指定されており、市役所あやめ会館で展示しています。



第23回 『明治日本の産業革命遺産』 エリア8 八幡

日本事務所は、煉瓦造の事務所建築で長官室や顧問技師室などが置かれました。修繕工場、旧鍛冶工場は、ともにドイツG.H.H.社の設計、鋼材による工場建築です。

カマボコ状の緩やかな曲線を描く屋根が、外観上の特徴で、鉄骨造工場建築としては国内最古級です。



修繕工場【非公開施設】(写真提供:新日鐵住金(株)八幡製鐵所)

官営製鐵所(現・新日鐵住金(株)八幡製鐵所)は、銑鋼一貫生産の製鐵所として建設されました。明治34年(1901)に操業を開始し、生産が軌道に乗ってからは年を追うごとに生産量を増加させ、併せて施設を拡張していきました。

構成資産として福岡県北九州市八幡東区に所在する製鐵所創業期の建築群(日本事務所・修繕工場・旧鍛冶工場)と、福岡県中間市に所在する水源地施設(遠賀川水源地ポンプ室)の二カ所が推薦されています。

今なお現役として活躍する八幡の施設



遠賀川水源地ポンプ室【非公開施設】(写真提供:新日鐵住金(株)八幡製鐵所)

遠賀川水源地は、製鉄増産に伴い必要となった大量の水を安定確保するために設けられた水源地施設です。ポンプ室は、赤煉瓦を基本に鋳鉄煉瓦

修繕工場、遠賀川水源地ポンプ室は、建設後100年を経過した、今なお現役施設として稼働しています。日本のものづくりを今に伝える施設を、これからも大切に守り継いでいきます。

てつぎえもん 塗り絵展示
3月はひまわり保育園の年長さんが塗ってくれた作品を反射炉受付所で展示しています。
3月31日(月)まで

生涯学習きっかけ作り塾 合同発表会

昨年5月に始まり、延べ約650人の受講生が学んだ生涯学習きっかけ作り塾が1年間の締めくくりを迎えます。初歩から学んだ成果を一堂に集めて発表します。あなたの家族や友人の力作・熱演をご覧ください。



とき/3月15日(土) 13:00~展示発表のみ
16日(日) 9:30~展示発表 13:00~ステージ発表

ところ/葦山時代劇場
発表内容/小作品展示 18講座、ステージ発表 11講座、体験ブース 2講座

その他/入場無料、申し込み不要です。
駐車台数に限りがありますので公共交通機関をご利用ください。ステージ発表終了後、15時から閉講式を行います。

※現在配布中の平成26年度生涯学習情報誌で「きっかけ作り塾」の受講生を募集中です。次はあなたも「きっかけ作り塾」に参加してみませんか。
社会教育課 ☎055-948-1461

「美容医療は慎重に」

男女を問わず、美容医療(二重まぶた、痩身など)についてホームページや雑誌などで多くの広告が出されています。ところが、一部の悪質な美容医療機関の場合、必要



© Shigeki Yamada 自分の身体のことだからこそ、より慎重に

ではない別の手術を併せて進め、患者にじっくり考える時間を与えないで高額な契約をさせ、ホームページに掲載していた金額よりも高額の費用を請求をするなどの事案などもみられます。

美容医療行為(手術)は、自分自身の身体を傷つける行為です。本来、医療機関においては、これによる副作用などの説明を十分に行い、患者に慎重に考える時間を与え

なければいけません。しかし、説明行為を省略する、または患者に考える時間を与えない、などによりこのようなトラブルが発生しています。

美容医療は魅力的かもしれませんが、慎重に検討をすることが求められます。

(文と絵) 司法書士 山田茂樹